

参考5 部門別の省エネルギー対策

①産業部門

省エネルギー技術	自家発電のリパワリング ・スチームタービンにガスタービンを追加し発電効率を向上させる
	電動機対策 ・インバータ制御や高効率モーターの利用
	ボイラー対策 ・酸素制御装置等による空気比の制御
	その他の省エネルギー技術 ・高性能工業炉、業種間リサイクルなど
省エネルギー行動	省エネルギープロセス ・プロセスの省略・組合せ・コンパクト化・効率化・計算機制御等
	設備改善 ・放散熱の減少、燃焼効率の向上、冷却改善、電気設備の改善等
	熱回収 ・製品熱の回収、排熱の回収、冷却熱の回収等
	エネルギー有効利用 ・エネルギー転換、副産物の活用、廃棄物の有効利用等
	最適操業の実施 ・トータル熱効率、炉の最適操業、設備の保守、標準化の推進等
	無駄の確認 ・不要箇所の消灯等不要設備を止める工夫、蒸気圧力等不必要な場合は下げる工夫、照明のスイッチを細分化するなどの分ける工夫、計測誤差のチェック等

②民生家庭部門

省エネルギー技術	住宅の省エネルギー化 ・天井、開口部等の室内空間と外部との境界面に断熱材、複層ガラスやペアガラスを使用することによる断熱気密構造化
	家電製品（エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明など）の効率向上
	テレビの液晶化
	その他の省エネルギー技術 ・多機能ヒートポンプ、センサー付き照明、コンパクト蛍光灯、緑化
省エネルギー行動	〈冷暖房〉 エアコン（冷房時）の温度設定は28℃を目安とする。 暖房時は室温が20℃を超えないようにする。 冷房・暖房の機器を不必要につけっぱなしにしないようにする。 エアコンのフィルターを月に1回か2回掃除する。 こたつは、敷布団と上掛けを使用し、保温に気をつける。
	〈給湯〉 シャワーは、お湯を流しっぱなしにしないようにする。 お風呂は、家族で間隔をおかず入るようにする。 食器洗いのお湯の温度は、できるだけ低くするよう気をつける。
	〈洗濯掃除〉 洗濯物は、まとめて洗濯する。 洗濯は、すすぎの前に脱水し、節水、省電力に努める。 掃除機をかける前に部屋を片づけて、掃除機を使う時間を短くする。 掃除機の集塵フィルターの取り替え時期に注意して取り替える。

	<p>〈冷蔵庫〉 冷蔵庫の庫内は整頓し、物を詰め込みすぎないようにする。 冷蔵庫の扉の開け閉めを少なくし、開けている時間を短くする。 冷蔵庫にもものを入れるとき、熱いものはさまし、湿ったものはラップに包むようにする。</p>
	<p>〈AV 機器〉 テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにする。 テレビの主電源を切る、ステレオやパソコンのコンセントをこまめに抜くなど、待機時電力の無駄な消費をしないようにする。</p>
	<p>〈照明〉 蛍光灯は消費電力が小さいので、白熱電球を白熱電球タイプの蛍光灯にする。 人のいない部屋で電灯がついていることがないように、こまめに消灯を心がける。</p>
	<p>〈リサイクル〉 家庭から排出される資源ごみをリサイクルし、再資源化・再利用を図る。</p>

③民生業務部門

省エネルギー技術	<p>業務ビルの省エネルギー化 ・空調負荷の削減（建物配置の最適化、建物方位の最適化、建物形態の最適化、階高・階数の最適化、空調空間の段階的配置、屋上緑化、アトリウムを設置など） ・熱源システム（高効率機器の採用、熱回収システムの採用） ・空調システム（大温度差の利用、VAV・VWV方式の利用、室内湿度条件の緩和、取入れ外気量の制御）</p>
	<p>OA 機器（パソコン、複写機・磁気ディスクなど）の効率向上</p>
	<p>照明の効率向上 ・インバータ照明、高効率ルーバー・反射板、センサー付き照明、非常口高輝度誘導灯</p>
エネルギー管理体制の整備	<p>その他の省エネルギー技術 ・パソコンモニターの液晶化、潜熱回収型ボイラー、緑化</p>
	<p>エネルギー管理体制の整備</p>
	<p>省エネルギー目標の設定</p>
	<p>エネルギー消費量の把握 省エネルギー教育 等</p>
省エネルギー行動	<p>〈照明〉 ランプや器具の清掃 蛍光灯の交換 不要な照明の消灯 昼光の有効利用 部屋の色調を明るくする</p>
	<p>〈パソコン等 OA 機器〉 昼休み等不要時の電源 OFF 省電力モードへの設定</p>
	<p>〈空調〉 適切な温度設定 吹出口の風向調節板の調整による温度の分布の一律化 空調機器の定期的な清掃 ユニット据付場所の適切化 冷凍器の効率的運転 外気冷房の利用 日射の防止</p>

	<p>〈ボイラー〉 空調取入量の調節 バーナーの点検・整備 低空気比燃焼 ススなどの付着防止 蒸気圧力の適正化 蒸気漏れのチェック・補修</p>
	<p>〈給湯〉 ガス機器の空気口・排気口の点検・調整 排気筒の点検・清掃 湯温の適正化 貯湯式ボイラーの残湯の有効利用 口火消化の励行</p>
	<p>〈調理〉 水の出し放し防止（給水栓の開閉励行） 劣化パッキンの取替え 火力の調整 機器の清掃 レンジ・オーブンの無駄な予熱防止</p>
	<p>〈冷凍・冷蔵庫・ショーケース〉 適正冷却温度への調整 扉の開閉回数・時間の減少化 食品の詰めすぎ防止 温かい食品は冷まして入庫 ショーケース照明の閉店後消灯 霜取りの励行 扉のパッキンのチェック・修理 凝縮器の定期的清掃</p>
	<p>〈自動販売機〉 スピーディーな扉の開閉 背面のスペース確保 熱交換器の定期的清掃 確実なホットアンドコールドの切換え</p>
	<p>〈受電〉 受電室の換気チェック</p>
	<p>〈洗面所〉 劣化パッキンの取替え 洗面器用止水栓の調整 フラッシュバルブの吐水量調整</p>
リサイクル	紙
	アルミ缶、スチール缶
	ペットボトル
	ガラス瓶 等

④運輸部門

省エネルギー技術	自動車燃費の向上 ・筒内噴射ガソリンエンジン、リーンバーンエンジンなど省エネルギー型エンジン
	物流の効率化 ・積載率向上、モーダルシフト
	交通の円滑化 ・高度道路交通システム（ITS）、時差通勤、違法駐車解消、在宅勤務・テレビ会議などの利用
	その他の省エネルギー技術 ・鉄道車両の省エネルギー化など
省エネルギー行動	急発進をやめる
	急加速をやめる
	空ぶかしをやめる
	アイドリングをやめる